

政務活動費収支報告書

令和7年4月30日

八尾市議会議長

田中 慎二 様

議員名又は会派名とその代表者名

川上 舞

条例第13条第1項の規定により、令和6年度政務活動費
収支報告書を提出します。

1 収 入

(単位：円)

項 目	金 額
政務活動費	840,000

2 支 出

(単位：円)

項 目	金 額
支 出	調査研究・研修費 282,060
	資 料 作 成 費
	資 料 購 入 費
	広 報 費
	広 聴 費
	日 常 活 動 費
	人 件 費
	事 務 所 費
	事 務 費
合 計	282,060

3 収入支出差引残額（返還額）

557,940 / 円

注）支出が収入を上まわる場合は、残額欄には0円と記載のこと。

政務活動費における活動報告書

令和6年度の政務活動の内容は、収支報告書のとおりであります。そのうち、主要な政務活動内容の概要については、別紙のとおりでありますので、条例第14条第1項及び条例施行規程第9条第1項の規定に基づき簡潔に報告いたします。

議員名又は会派名とその代表者名

川上 舞



研修日：令和6年4月11日～4月12日

八尾保守の会視察

東京都 足立区役所

足立区の「おいしい給食」はおいしさと安全性を重視した先進的な取り組みで知られている。他自治体に比べて下記の内容で特化している。

- ・全校自校調理方式の採用：小中学校全て自校調理
- ・天然だしの使用と手作り調理：カツオ節や昆布等から取った天然だしを使用し、化学調味料や冷凍食品を極力使用せず手作りにこだわった調理を行っている。
- ・食育の推進と地域との連携：積極的な食育活動の推進や地元農家との連携による地産地消の取り組み、栄養士による授業参加を実施
- ・残渣量を削減とその可視化：残渣量を数値として可視化しそのデータを基に残渣量の削減に成功

東京都 日野市役所

日野市の視察では「都市農業の多機能的価値（食・福祉・教育）」「地場との循環型給食」が特徴的であった。

- ・市街地に点在する農地を保全し「市民農園」「ふれあい農園」として活用。
- ・生産緑地の制度活用により都市農業の継続を支援。
- ・市内産の新鮮な野菜を学校給食に活用する取り組み（地場産食材の積極利用）
- ・栄養教諭や地元農家による授業や説明会の実施。

八尾市でも地元の農業資源や市街地農地の活用によって学校給食における地産地消率の向上、また安心安全なオーガニック給食の実現と地域に根差した都市農業支援の展開は可能であると考えます。視察を通して得た学びを今後活かしていく。

政務活動 研修費活動記録簿添付資料

【活動概要と成果】

No.調研・2

研修日：令和6年6月3日 13：00～16：30

研修名：「議員のための自治体財政基礎講座・自治体財政の基本と勘どころ」

講師：森裕之（立命館大学政策科学部教授・博士）

自治体財政の基礎的理解

財政基礎歳入編

- ① 地方財政の仕組みをゆっくり解説
- ② 地方税の区分をゆっくり解説
- ③ 補助金の仕組みと質疑のための課題
- ④ 地方債の役割

財政基礎 歳出編

財政健全化のための基礎的課題 財政破綻の足音を察知するために見る

- ① 税の使い道を目的別と性質別で押さえる
- ② 住民一人当たりのコストを比較
- ③ 自治体財政の全体像から考える観点
- ④ 黒字と赤字を正確に把握する
- ⑤ コロナによる基金の変化
- ⑥ 財政の健全性を見るためのポイント

自治体財政の基礎についての本を出版されている森裕之講師による基礎の講義。なぜ自治体の財政は分かりにくいのかということ为基础から解説し自治体財政を家計に例えることでより理解しやすく学ぶことができた。財政の基礎編ということでかなり分かりやすい講義であったが財政の理解は難解であり、課題を見つけるどころかまだほんの入り口を知っただけだと感じた。今後とも学び続けていく必要を感じた。

研修日：令和6年8月1日～8月2日

八尾保守の会視察

福岡県 古賀市役所

古賀市では行政改革と働き方改革の先進的な取り組みを学んだ。

- ・職員による窓口体験調査
- ・多様な働き方の推進：テレワーク・時差出勤、立会議室の導入等多様な働き方を推進。また男性職員の育児休業取得率 100%を目指し、職員のワークライフバランスに配慮
- ・ChatGPT を業務に取り入れ政策立案や文書作成の効率化を図る。
- ・上下水道課のオフィスを全面改修し職員が固定の自席を持たないフリーアドレスデスク方式を採用。

古賀市の市長は若く、元新聞記者という経歴から革新的な考えを持たれており、市の施策もいかにメディアに取り上げてもらえるようにするかという事を重要視されている。古賀市の先進的な取り組みは八尾市の行政サービス向上や議会活動の活性化に大きく参考となった。

福岡県 大牟田市役所

大牟田市は令和2年7月の豪雨災害を契機に防災・減災対策を強化し先進的な取り組みを進めている。

- ・災害検証委員会の設置と提言の実行：災害検証委員会を設置し課題の洗い出しと具体的な対策をすすめる
- ・多様な手段（防災行政無線 緊急速報メール SNS）を活用し住民への迅速な情報伝達
- ・児童が地域の防災マップを作成し学校で自助・共助の学びをえる
- ・企業や住民が協働して被害の軽減を目指す「流域治水」の考え方を取り入れている

南海トラフが起きると言われており本市においても防災・減災は大きな課題となっている。今回の視察を通じて得られた知見を元に本市の実情に即した施策の検討や導入に向けての課題を明確にしていく。

【活動概要と成果】

No.調研・4

研修日：令和7年1月29日

令和7年1月30日

令和7年1月31日

令和7年2月1日

全国地方議員交流研修会 in 沖縄

1/29 玉城デニー知事「沖縄、日本を再び戦場にさせてはならない」

羽場久美子教授「戦後80年私たちから平和をつくる」

鈴木宜弘教授「パフォーマンスでは済まされない～

限界近づく農と食の危機」他

1/30 鈴木宜弘教授「農業・農村を守り、食料自給を確立するために」

市川哲夫市議「自給率向上・農業者支援などの地域での

自治体議員の役割や活動」

1/31 現地フィールドワーク

「辺野古現地視察」

2/1 沖縄平和学習（NPO 法人沖縄鍾乳洞協会）

「現地ガマ視察」

玉城デニー知事は沖縄戦の悲惨な経験を踏まえ平和の尊さを次世代に伝える事を日々訴えており、講演会では戦争や暴力のない社会の実現に向けた取り組みや沖縄が国際平和の拠点となるべく努力している姿勢が示されている。

沖縄の地方議会は国の方針と異なる立場を取りながらも住民の声を代弁し全国に発信している。

八尾市にも駐屯地があり、沖縄とは自衛隊や米軍の施設を抱える自治体として共通する課題もあると考える。

沖縄視察は八尾市のもつ「駐屯地所在自治体」としての責任や課題に対しより広い視野で向き合う契機となった。

また平和を考えると同時に地域の安全と共存を実現する政策とは何かを見直す学びとなった。

2/1 ガマ視察

NPO 法人沖縄鍾乳洞協会 松永光雄理事長にガイドを依頼し沖縄南部の八重瀬町戦争遺跡公園「白梅学徒看護隊之壕（第二四師団野戦病院壕跡）」と「旧沖縄派遣独立高射砲 第二十七大隊終焉の地」の二か所を視察。

沖縄のガマは鍾乳洞でありながら 1945 年の沖縄戦において住民や軍隊の避難・治療・指令・戦闘の場として使われていた。多くの被害や犠牲者を出し、まさに「戦場そのもの」として現場の空気と歴史の痕跡を残している。

また沖縄では戦争遺跡としてガマを保存しながら、地域住民の語り部やガイドとの協働による平和教育が根付いていた。単なる資料館とは異なり歴史の痕跡が残る場を体感することで戦争遺跡の保存の意義を実感することができた。

本市にも陸軍大正飛行場関連の遺跡や掩体壕が戦争遺跡として残されているが、自治体としての保存・活用がなされていない。戦争遺跡を「負の遺産」ではなく「平和の教育資源」としてどう保存・活用すべきか、また戦争体験の語り部や戦争遺跡のガイドが年々減少していくなかで、どう記録を継承していくべきかを学ぶことができた。

戦後 80 年、都市化が進んだ八尾市において地域の戦争の記憶が風化しやすい状況にあるが、だからこそ地域独自の歴史を保存し次世代へとつなぐ平和行政につなげていきたい。

政務活動 研修費活動記録簿添付資料

【活動概要と成果】

No.調研-5

研修日：令和7年2月3日 10:00～12:30 14:00～16:30

令和7年2月4日 10:00～12:30 14:00～16:30

研修名：「人口減少時代の自治体財政」

講師：森裕之（立命館大学政策科学部教授・博士）

世界一わかる財政基礎研修

- ・議員が知るべき財政の本質
- ・自分の街の財政をみる・客観的な見方
- ・必ずわかる地方交付税
- ・押さえておきたい財政措置

財政破綻に向かう自治体財政

- ・国の方向性
- ・コロナがもたらした財政規律の破壊
- ・財政逼迫に備えるポイント
- ・各地の財政危機宣言の嘘と事実
- ・人口減少に備える財政の考え方

自治体財政の基礎についての本を出版されている森裕之講師による基礎的な講義を2日かけて受講。なぜ自治体の財政は分かりにくいのかということから基礎から解説し自治体財政を家計に例えることでより理解しやすく学ぶことができた。また出席議員の自治体の決算状況をピックアップし解説してくれるため八尾市の現状が把握しやすい講義であった。今回は人口減少を続ける我が国において自治体財政は何を重視すべきかという観点での講義もあり、八尾市においても大きな課題であると感じる講義であった。2日間朝から夕方まで学び、財政の基礎編ということでかなり分かりやすい講義であったが財政の理解は難解であり、課題を見つけないところかまだほんの入り口を知っただけだと感じた。今後とも学び続けていく必要を感じた。

政務活動 研修費活動記録簿添付資料

【活動概要と成果】

No.調研-6

研修日：令和7年3月28日 10:00～12:30 14:00～16:30

研修名：「質問力で役所を動かす特別研修 in 東京」

講師：村山祥栄（前京都市議会議員）

地方創生人口戦略再考

- ・ 地方創生と東京一極集中
- ・ 人を呼び込む人口増加策
- ・ 人口減少に負けない自治体戦略
- ・ 先進自治体に学ぶ質問のポイント

質問からできる政策実行研修

- ・ 実現できないのは質問が悪い
- ・ 力のある議員には何があるのか
- ・ 今すぐできる政策大全完全版
- ・ 質問の鋭さが政策を動かす

元京都市議会議員の村山祥栄氏による実践に結び付く講義。アフターコロナ以降、人口減少に向かう日本では政治に求められる形は変化しており都市部・ベッドタウン・田舎で人口増加戦略は異なるとのこと。

他市の企業誘致の実例や明石市の子育て施策の具体策と課題等を詳しく学び本市にどのように活かすのか考えるきっかけとなった。

また午後からはどのような一般質問が効果的なのか、また質問だけで終わらずに実現に結び付けるにはどうすればいいのかも他市の実例を交えて解説がありよりよい議会質問や議員活動をするための学びとなった。